

2013年3月期決算説明会 主なQ & A

[設備投資]

Q： 2014年3月期から2016年3月期までの3年間の設備投資計画（総額1.55兆円）の考え方は。

A： 2012年10月に発表した2013年3月期から2015年3月期までの計画（3年間の総額1.45兆円）に対して、今期からの3年間では、総額で1,000億円増やす計画です。

総額1.55兆円のうち、維持更新投資9,500億円は従来の3ヵ年計画と同水準としました。そのうち、安全投資については、5,000億円から6,000億円に増額しました。

一方、成長投資6,000億円は、従来の3ヵ年計画から1,000億円増額した水準としました。

これらにより、地震対策など災害に強い鉄道づくり、新幹線車両などの投入、大規模開発プロジェクトなど、当社グループの将来につながる諸施策を力強く進めていきます。

（注）維持更新投資：事業の継続的運営に必要な投資

[大規模開発プロジェクト]

Q： 新宿、千葉、渋谷、品川などの大規模開発プロジェクトの進捗状況は。

A： 「グループ経営構想V」のもと、大規模開発プロジェクトでは、駅をひとつの「街」ととらえ、駅の価値向上に取り組むとともに、駅周辺の自治体・企業と連携することで「駅」を基点としたエリア全体の価値向上を目指しています。

新宿駅新南口ビル（仮称）は2016年春の完成、千葉駅駅舎・駅ビル建替えは2018年春の全面開業、渋谷駅開発は2020年の東棟完成と2027年の中央棟・西棟の完成を目指して、それぞれプロジェクトを進めています。

品川開発プロジェクトについては、具体的な計画策定に向けて、現在、自治体など関係者との協議を行っております。

[株主還元]

Q： 今回、配当に加えて自社株買いの実施も決定されたが、今後の株主還元の考え方は。

A： 「グループ経営構想V」のもと、株主還元については、総還元性向 33%を目標としております。

2013年3月期の利益水準やキャッシュの状況などをふまえ、今回、年間120円の配当と、100万株または100億円を上限とする自社株買いを行うことを決定しました。

今後も、安定的な配当の実施と柔軟な自社株買いに取り組むことで、株主還元のさらなる充実を目指してまいります。

以 上